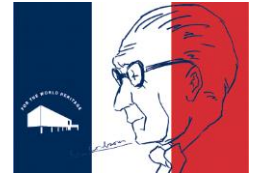


世界遺産登録推進NEWS



国立西洋美術館を世界遺産に！
For The World Heritage!



【発行】2014(平成26)年12月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



浅草文化観光センターでパネル展を開催します！



1月10日(土曜日)から2月18日(水曜日)まで、浅草文化観光センターの7階で「FOR THE WORLD HERITAGE ～目指せ世界遺産！国立西洋美術館～」をテーマとしたパネル展示を開催します。

今回のパネル展では、建築家ル・コルビュジエの建築のアイデアや、国立西洋美術館の建築の見どころ、世界遺産登録に向けてのスケジュールや台東区の取り組みなどを紹介します。加えて、8月に開催しました世界遺産区民講座「親子の建築ワークショップ 着せ替えドミノ」にて、参加者の皆様が制作された作品の写真も紹介する予定です。

また、各種パンフレット等を設置するとともに、6階多目的ホールにてDVD「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」(上映時間 約18分間)を放映します。



浅草文化観光センター

この機会にぜひお立ち寄りください！

- ◆開催期間：1月10日(土曜日)から2月18日(水曜日)まで
- ◆開催場所：浅草文化観光センター(台東区雷門2-18-9)
7階展示スペース：パネル展示・DVD放映
6階多目的ホール：DVD放映

ぜひ
見に来てね！



コルビおじさん

活動報告

世界遺産区民講座

「ル・コルビュジエ建築の日本へ影響」を開催しました！

11月1日(土曜日)、国立西洋美術館講堂で「ル・コルビュジエ建築の日本への影響」をテーマに区民講座を開催しました。

当日は、建築史家・東京都江戸東京博物館研究員の米山 勇氏を講師に迎え講義をしていただいた後、国立西洋美術館ボランティアガイドさんのご協力により施設見学を行いました。

講義では、様々な建築様式やル・コルビュジエと同時代の建築の変遷、コルビュジエ建築の特徴や日本においてどのように受け入れられたかについて分かりやすく説明していただきました。

施設見学では、3つのグループに分かれ、建物(本館)の外観や19世紀ホール、展示室などをガイドさんの説明に沿って見て回りました。

受講された皆様からは、「大変分かりやすい説明だった」、「講義、見学ともに大変質の高い情報を提供してもらった」、「なぜこの美術館が『世界遺産に！』なのか理由がわかった。」、「西洋美術館が世界遺産になることを願う」などの感想をいただきました。



講義の様子



施設見学の様子

谷中まつり&かっぱ橋道具まつりで国立西洋美術館をPRしました！

10月11日(土曜日)、12日(日曜日)に開催された谷中防災広場「初音の森」での「谷中まつり」と、10月13日(月曜日・祝日)に開催されたかっぱ橋道具街通りでの「かっぱ橋道具まつりパレード」に参加し、世界遺産登録に向けたPR活動を行いました。

谷中まつりでは、来場された多くの方々にパンフレットや啓発用のメモ帳、シール等を配布し、ご理解とご支援をお願いしました。

かっぱ橋道具まつりパレードは横断幕を持って参加し、沿道の多くの方々に国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向けたPRを行いました。

今後とも各種イベントに参加し、積極的にPR活動を実施してまいります。



谷中まつりの様子



かっぱ橋道具まつりパレードの様子

世界遺産関連情報

●世界遺産サミットが開催されました！

10月24日(金曜日)、国内に18ある世界遺産が所在する自治体の首長などが、世界遺産の保全や観光面における活用について意見交換を行う「世界遺産サミット～世界遺産地域の連携と魅力発信～」が初めて開催されました。

第1部では、吉田孝次郎(公財)祇園祭山鉾連合会理事長による「暮らしと観光と文化財」をテーマとした基調講演と、松浦晃一郎ユネスコ前事務局長、久保成人観光庁長官、山下和茂文化庁文化財部長の3名による「世界遺産の現状について」の講演が行われました。第2部では、参加自治体の首長によるパネルディスカッションが行われました。

各自治体のトップが集まり世界遺産の保全と観光について話し合うことは初めての試みで、行政関係者や観光関係者、一般の方を含め、参加者は500人にもものぼりました。来年は和歌山県で開催される予定です。



ル・コルビュジェの建築作品介绍

ラ・トゥーレット修道院(Couvent Sainte-Marie-de-la-Tourette) 1953-1960



ラ・トゥーレット修道院(外観)



中庭
→

ラ・トゥーレット修道院はフランスのリヨン近郊の緑豊かな丘陵地に建つカトリック ドミニコ会の修道院です。

この建物は、中庭を囲むU字型の修道院と、北側の翼棟にある箱型の教会という、形式的にも構造的にも二つの異なる建物で構成されています。修道院は、正方形の平面構成、円筒形のらせん階段、ピラミッド形の小礼拝堂、立方体の聖具室など、単純なフォルムを組み合わせたものとなっています。修道僧の個室は、5階建て建物の4階と5階にあり、3階に玄関と図書室や自習室、教室などの共用スペース、1階と2階に食堂などが配置されています。様々な開口部から効果的に自然光を取り込む仕組みを使って、内部に赤、青、黄などの色彩が用いられているのも特徴です。

同時期のロンシャンの礼拝堂と共に、ル・コルビュジェ後期の傑作とされています。